

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : グリセリン

製品番号 (SDS NO) : D00246A-1

適用対象規格 : 試薬特級、国産1級

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 試験研究用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 国産化学株式会社

住所 : 東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署 : 品質保証部

電話番号 : 0120-81-5930

FAX : 0120-11-5930

e-mail address : cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡電話番号 : 0120-81-5930

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素

絵表示: 該当しない

注意喚起語: 該当しない

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

化学物質

慣用名又は別名 : グリセロール

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化学式
グリセリン	95 ≤	56-81-5	2-242	C3H8O3

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

### 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医療処置を受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で優しく洗う。

皮膚刺激が生じた場合: 医療処置を受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医療処置を受けること。

#### 飲み込んだ場合

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

皮膚:皮膚の乾燥

経口摂取:下痢

#### 応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

周辺設備に適した消火剤を使用する。

### 消火を行う者への勧告

#### 特有の消火方法

危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。

#### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

### 環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

少量の場合、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

### 二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

#### 安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

#### 衛生対策

取扱い後はよく手を洗う。

#### 保管

##### 安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置くこと。

日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

##### 許容濃度等

##### 管理濃度及び濃度基準値

設定されていない

##### 職業ばく露限界値

##### ACGIH

(グリセリン)

TWA: 10mg/m<sup>3</sup> (ミスト)

##### 設備対策

排気/換気設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

##### 保護具

##### 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。

##### 眼及び/又は顔面の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。

#### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：吸湿性粘稠液体

色：無色

臭い：ほとんど無臭

融点/凝固点：18℃

沸点又は初留点及び沸点範囲：(グリセリン)290℃

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

爆発下限：2.6vol %

爆発上限：11.3vol %

引火点：(グリセリン)(C.C.) 176℃

自然発火点：(グリセリン)393℃

pH：5.5～6.5 (33%水溶液)

粘性率：276.1(40℃)、145.9(50℃)、32.2(80℃)mPa·s

溶解度：

水に対する溶解度：混和する

n-オクタノール/水分配係数 (log 値)：-1.76

蒸気圧：0.01Pa(25℃)

密度及び/又は相対密度：1.26

相対ガス密度(空気=1)：3.2

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

生態毒性データなし

水溶解度

(グリセリン)

混和する(出典: ICSC, 2006)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

[成分データ]

(グリセリン)

log Pow: -1.76(出典: ICSC, 2006)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

14. 輸送上の注意

国際規制

UNRTDG

国連番号: 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号：該当しない  
IATA (航空危険物規則書)  
国連番号：該当しない  
環境有害性  
海洋汚染物質 (該当/非該当)：非該当  
環境有害性物質/混合物 (該当/非該当)：非該当  
IMOによるばら積み輸送される物質  
MARPOL条約附属書II - 有害液体物質  
有害液体物質(Z類)  
グリセリン

## 15. 適用法令

### 該当法令

#### 毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

#### 労働安全衛生法

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

#### 消防法

##### 危険物

第4類 引火性液体第3石油類水溶性液体 危険等級 III(指定数量 4,000L)

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

#### 適用法規情報

輸出貿易管理令：

別表第1の16の項に該当

## 16. その他の情報

### 参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN

IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)

IATA 航空危険物規則書 第67版 (2026年)

2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2026 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252:2019

JIS Z 7253:2019

JIS Z 7252 : 2025 (※)

JIS Z 7253 : 2025 (※)

許容濃度等の勧告 (2025年度) (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.38 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)

### ※ お知らせ

弊社では今回のフォーマット更新をスタートとしてJIS 2025 へのSDS対応を段階的に行い、最終的に2030年までに対応完了を予定しております。それに伴い、段階的にSDSフォーマットを更新して

まいります、ご利用の皆様にはご不便の無いように更新してまいりますので、御理解のほど宜しくお願い致します。

#### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実用を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。